

提出日	令和3年3月19日	記入者	坂本 昌代
団体名	ふりがな：ぶんきょうたげんご さぼーとねっとわーく 文京多言語サポートネットワーク <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> NPO 法人 <input type="checkbox"/> 一般社団法人 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他()		
協働団体	文京区教育指導課、文京区教育センター 文京区立小学校、文京区内の区立・私立幼稚園、文京区内の区立・私立保育園 東京都国際交流委員会、外国人支援ネットワーク 東京都小学校PTA協議会		
自団体 および 協働団体 の 役割分担	自団体：ガイドブックの更新、ウェブ版ガイドブックや動画の作成・更新 就学相談会、パパママカフェ、「やさ日」ワークショップの実施 団体HPへの掲載、区内外への情報発信 文京区教育指導課、文京区教育センター、区内小学校・幼稚園・保育園：区内保護者への情報提供 東京都国際交流委員会、外国人支援ネットワーク：都内外国人、支援者への周知 東京都小学校PTA協議会：都内PTAへの情報提供		
担当者名	坂本 昌代	役職等	なし
事業名	「やさしい日本語」から始める地域交流		
部門 (1か2 いずれか ○)	1. 課題解決部門(該当の場合、いずれかの番号に○) (1) 高齢者の特殊詐欺被害を予防するための活動 (2) 地域コミュニティの価値を見直し、新たなつながりが広がる活動 (3) 男性高齢者の継続的な参加につながる社会参加を促すための活動 (4) 介護の魅力を広く啓発し、様々な担い手と事業所のマッチングを図るための活動 (5) 中学校卒業後の不登校等の孤立状態に対応できるボランティアを育成するための活動 (6) 外国にルーツがある児童・生徒についての生活や学習支援活動 (7) その他、団体の専門性を生かしたテーマで提案された取り組み <input checked="" type="radio"/> 2. 地域活性化部門		
提案背景 目的 地域のどんな 課題を解決し たいかを明記	現在文京区に住む外国人住民は 10,415 人、総人口の 4.6%を占めている。(令和3年3月現在) 単身で来日する留学生だけではなく、家族で滞在する外国人世帯もあるなか、文京区には通訳を配置した外国人相談窓口はなく、多言語による情報提供もなされていないため、必要な情報を得るのに苦労している外国人住民の存在がある。「やさしい日本語」を媒介に、就学相談会を継続して行うだけでなく、パパママカフェ、ワークショップを通じて、地域住民と外国住民との新たなつながりを創出し、共生社会実現への一助となることを目指す。		

<p>事業内容</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響に配慮し、その都度事業内容を検討しながら実施した。</p> <p>①多言語による小学校就学相談会の継続実施と、ウェブ上に公開した情報の更新。 「児童保健調査票」など区内小学校が共通で使う文書を多言語化し、PDFと動画でウェブ上に公開した。コロナ禍でも安心して相談会に参加できるよう予約制の個別相談とし、感染対策をとった対面とオンラインを併用した。区立の幼稚園保育園や私立幼稚園だけでなく、最近増えている私立保育園まで範囲を広げ、手渡しや郵送で相談会の周知を行った。また合同校長会でも情報の共有をさせていただいた。</p> <p>②外国人パパママカフェ コロナ禍で行事や保護者会が縮小・中止された影響で、既に子どもを小学校へ通わせている保護者も気軽に情報交換できる場が減っていることが分かった。そのため、外国人保護者が気軽に話したり、先輩保護者に体験を聞ける場をオンラインで設けた。</p> <p>③「やさしい日本語」ワークショップ 日本語教室ボランティアなど既に支援をしている層だけでなく、関心はあっても機会がなかった住民が、在住外国人住民と交流するきっかけを作るため、「やさしい日本語」ワークショップをオンラインで実施した。広報はフミコムのメーリングリストや、facebookなどのSNSを積極活用した。</p>
<p>協働団体 or 利用者の声</p>	<p>●就学相談会参加者 「生活面から学習面、更に高校大学への進学のことなど、私たちの疑問に丁寧に答えていただきました。小学校での生活について見通しが持てただけでなく、その後の進路についても考えることができました。出会いに感謝します。」(中国人パパ)、「知っていることを後輩に伝えます。任せてください。」(先輩中国人ママ)</p> <p>●小学校就学ガイドブックを見た他自治体の関係者(府国際交流サロン) 「府中でも作成を目指しているのですがコロナ禍で中断したままです。作成活動を通じ市のSSWさんたちとの連携もできてきました。拝見して府中でも改めてがんばろうと思いました。」</p> <p>●外国人パパママカフェ 「オンライン会議の形式はとてもよく、時間配分もちょうどよかったと思います。Sさん(話題提供者)の経験も役に立つものでした。子供が来日して2年になりますが、いつもサポートしていただけて心強いです。」 「最初に日本の受験事情の紹介、それからSさんの体験、更に質疑応答の時間があり、外国人ママが日本の受験について理解するため大きな助けとなりました。」(中国人ママ)、「パパママカフェにいらしていた皆さんが希望の中学に無事に進学できてよかったです。」(話題提供者の日本人ママ)、「この1年間、就学相談会、パパママカフェなどに参加させていただき、ありがとうございました。日本で暮らしている外国の方にとっては、身近で気軽に相談できる場所を提供するのはとても素晴らしいと思います。学校の制度や習慣は国によって異なったり、母国で学校に通う経験のない子どもがいたり、このようなわからないことだらけの</p>

	<p>環境の中で、小さなわからないことが積み重なって大きな不安にもつながります。私たちができるのは、外国人の子どもの就学問題に回答し、外国人の親をできる限り安心させることです。自分の語学力を活用することを通して、同じ中国の方々を支援し、留学生の自分にとっても大きな経験になったと思います。」（中国語通訳者）</p> <p>●「やさしい日本語ワークショップ」参加者 「やさしい日本語のテクニックだけでなく、そもそも多文化共生とはなにかということがよくわかりました。」「ZOOMというツール活用での講座で、求められる以上の満足感がありました。」「やさしい日本語というツールを介して、他者に対するやさしさとは何かを考え直すきっかけを生み出しているんだなと思いました。」「大学の授業で『やさしい日本語』に関する講義・演習を取り入れたいと思います。」「外国人の親が、自分の子供の前で活躍している姿を見せられるような活動を、私が行なっている活動の中でできたら良いなと思いました。」「介護現場で働く日本の仲間とともに私たちの在り方を共有し、外国籍の介護職のかたとのコミュニケーションを工夫し実践してみようと思います。」</p>
<p>協働による効果</p>	<p>●先輩パパママとの協働 個々の経験を直接聞くことが、日本の教育事情を知らない外国人にとっては大きなヒントになる。また、自らの経験を後輩に伝え、恩返ししたいと外国人保護者も考えていることがわかった。</p> <p>●幼稚園・保育園との協働 保護者と毎日会う幼稚園や保育園でチラシを受け取り、相談会への参加に結びつくケースが多かった。また、チラシを配布する中で外国人保護者の動向を知ることができた。</p> <p>●東京都国際交流委員会との協働 都内の支援者から同様の活動を行いたいという問い合わせがあった。</p> <p>●フミコムとの協働 自団体やフミコム公式 facebook だけでなく、そこからのシェアで情報が広がり、これまで外国人問題に関心を持っていながら具体的行動に結びついていなかった層に次の行動を促すきっかけとなった。</p> <p>●区民との協働 団体メンバーだけでなく、多くの人に外国人住民に関わる問題を知ってもらうことができた。</p>

<p>事業成果 および 今後の活 動予定</p>	<p>①小学校就学相談会 コロナ禍で新規外国人の来日が減少している影響もあり、相談件数は決して多くはなかった（9/13は4家族、2/23は1家族）ものの、個別相談にしたことで、聞きたい事をじっくり話せる良さがあった。今後も、毎年春と夏に継続開催する。</p> <p>②外国人パパママカフェ 対面の良さにかなわない部分もあるが、自宅からのオンラインのため夫婦揃って参加できたり、小さなお子さんがいても参加しやすいなどの良さがあった。現小6保護者については、様々な選択肢、意見を検討した上で、納得して進路選択する助けとなった。対面での活動がまだ難しいことも考慮し、多言語で気軽に相談できるSNS上の場を開設することも検討する。</p> <p>③「やさしい日本語」ワークショップ 今回は「やさしい日本語」初心者を対象としたため、今後は要望のあった実践編や、地域の外国人住民の状況を知ってもらうような機会を設けることを検討する。</p>
--------------------------------------	---

※別紙1：事業スケジュール [報告版]

※別紙2：収支決算報告

※別紙3：関係者マップ [報告版]（提案時の確定版と比較できる状態）

※追加別添1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添2：この事業の様子が分かる公開可能な写真データ（10枚以内）

事業名 「やさしい日本語」から始める地域交流

月	実施内容							
	①多言語による 就学相談会 (秋入学対象)	①多言語による 就学相談会 (春入学対象)	多言語 小学校就学 ガイドブック	①小学校共通 文書多言語化 (web版)	②外国人パパ ママカフェ	③「やさしい日本語」 ワークショップ	広報関連	打ち合わせ関連
令和2年 4月	●4/11就学相談会⇒ コロナのため中止			・多言語化する文書の 選定				・4/1 打ち合わせ ・4/6 打ち合わせ
5月				翻訳作業(中国語・英語)			団体Webサイト/FB 随時更新	・5/29 打ち合わせ ・5/31 打ち合わせ
6月	就学相談会案内チラシ作成(裏面は小学校就学ガイドブック案内)			WEBサイト作成	企画・立案	協力者・通訳ボランティア募集		・6/20 打ち合わせ
7月	周知活動、チラシ配付 通訳ボランティア手配		発印刷・ 送付 ・区内小学校にガイドブック(やさしい日本語版)を配付			周知活動		・7/4 打ち合わせ ・7/7 打ち合わせ ・7/10 打ち合わせ
8月				①児童保健調査票 ②指導補助カード ③ゆうちょ銀行自動払込 利用申込書 ⇒中国語/英語版、webに アップ	●8/20第1回パパママカフェ (オンラインで実施)		・8/10付ファミコムMLに 情報掲載	・8/15 打ち合わせ
9月	●9/13就学相談会 (オンラインと対面で実施)				企画・立案	協力者・通訳ボランティア募集 周知活動	・9/10付ファミコムMLに 情報掲載	・9/8 打ち合わせ ・9/13 打ち合わせ
10月	10月下旬～11月上旬 就学時健診				●10/29第2回パパママカフェ (オンラインで実施)	企画・立案		
11月				随時更新		講師依頼・事前準備 周知活動	・11/13 区報情報掲載申込 ・11/23ファミコム 「活動見本市」参加	・11/14 打ち合わせ
12月							・12/25号区報 「やさしい日本語」勉強会 参加者募集記事掲載 ・12/25付ファミコムMLに 情報掲載	・12/24 打ち合わせ
令和3年 1月	1月下旬～2月 新入生説明会	周知活動、チラシ配付 通訳ボランティア手配				●1/23 地域交流のための 「やさしい日本語」勉強会 (オンラインで実施) 講師：井上くみ子氏	・1/9ファミコムFB、団体FB、 ファミコムメンバー個人のFB、 団体メンバー個人のFBに情報 掲載	・1/8 打ち合わせ
2月		●2/23就学相談会 (オンラインで実施)	修正				・2/16合同校園長会にて チラシ配付 ・2/22東京都国際交流委員会 Twitterに情報掲載 ・2/22外国人支援ネットワー クMLに情報掲載	・2/2 打ち合わせ
3月		●3/27就学相談会 実施予定					・団体バナー・ロゴ 制作予定	

様式第8号 別紙2:収支決算報告

作成日 : 令和 3年 3月 19日

「Bチャレ」提案公募型協働事業【令和2年度】

団体名:文京多言語サポートネットワーク

収入 502,161 円

費目	決算額	積算根拠
「Bチャレ」助成金	500,000 円	地域活性化部門
団体より支出	2,161 円	不足分補填
	円	

支出 502,161 円

費目	決算額	積算根拠
編集企画会議費	90,000 円	担当者謝礼 3,000円×2人×15回
就学相談会開催費	62,600 円	区民会議室 1,900円、通訳謝礼 10,000円×2人、スタッフ謝礼5,000円×6人、チラシ印刷10,700円
就学ガイドウェブ版	214,500 円	通訳謝礼30,000円×3言語、ウェブデザイン謝礼20,000円、情報修正及びイラスト追加104,500円
就学ガイド紙版	25,110 円	見本誌印刷(A4/カラー/中綴じ) やさ日版40部、英語・中国語版各10部
パパママカフェ	9,000 円	話題提供者謝礼3,000円×3人
「やさしい日本語」 ワークショップ	30,000 円	講師謝礼
ガイドブック、チラシ 郵送費	20,362 円	小学校(250円×20校×2回)、区私立幼稚園保育園(94円×(44+43)園、私立保育園(84円×26園)
その他	50,589 円	インクカートリッジ 33,064円、コピー 1,980円、文具 15,545円



